

- ◇病院理念
 - ・受ける人が主役の医療の実践
 - ・最善の医療・看護の提供
 - ・働く人の健康管理とリハビリテーションの実施
- ◇基本方針

- ・痛み痛むかたの目線で公平な医療を行います
- ・常に研鑽して高質な医療を安全かつ確実に提供し信頼される病院づくりに努めます
- ・永年にわたる勤労者医療の実績を活かし働く方の健康維持と早期社会復帰に取り組みます



- ◎ 地域医療支援病院
- ◎ 地域がん診療連携拠点病院
- ◎ 病院機能評価認定病院
- ◎ 臨床研修指定病院

第26号 平成29年7月1日発行



『福島労災病院の移転・新築

今後の半世紀への新たな門出』

福島労災病院

院長 渡辺 毅

福島労災病院は、1955年3月、内科・外科・整形外科の3診療科、病床数50床の体制で、常磐炭鉱における労働災害への対処を主目的に開設されました。しかし、常磐炭鉱の廃坑に伴い病院の性格も徐々に変化し、現在は認可病床数406床、18診療科を備えた総合的な病院として、労災医療、職業性疾患の早期発見・予防、リハビリテーションのみでなく、様々な病因による急性疾患及び社会の高齢化によって増加した癌や生活習慣病などの非感染性慢性疾患（non-communicable chronic diseases; NCD）の診療に重点を移し、いわき市の地域医療の中核病院として救急医療や地域医療支援などの役割を担っています。一方、当院の施設は最も新しい建物でも建設から約30年が経過し、東日本大震災による損傷も各処に認められ、早急な設備のリニューアルが必要です。当初は、現地での部分改築も検討されましたが、公立病院が現敷地内に新病院の建築を開始した時点で、私としては移転新築を当院の基本方針と致しました。いわき市の医療は、病床数第1、2位のいわき市立公立病院と当院が内郷地区に隣接することで、広大な市域全体に対応するうえでは医療供給体制の地域的な偏在が存在し、特に救急医療・急性期医療においてその傾向が著しいのが現状です。そこで、当院がいわき市の人口中心に近い移転候補地を探していた時に、いわき明星大学から提案があったのが当時榎葉町の小中学校仮設校舎のために貸し出していたいわき明星大学の敷地内の土地です。この土地は、嘗ていわき市からいわき明星大学に無償譲渡され、大学以外の使用に供する場合はいわき市に返還することが規定されています。そのため、いわき市、いわき明星大学と当院が協議を進めて、本年5月30日に同地への移転に関する三者合意書に調印しました。今後、独立行政法人労働（次ページへ続く）

～ 目 次 ～

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ■ 移転・新築の新たな門出 …P 1～2 | ■ 健康食品・サプリメントについて …P 5 |
| ■ 新任医師紹介 …P 3 | ■ 疾病と食事 …P 6～7 |
| ■ スタッフ紹介 …P 4 | ■ 外来診療担当医表 …P 8 |

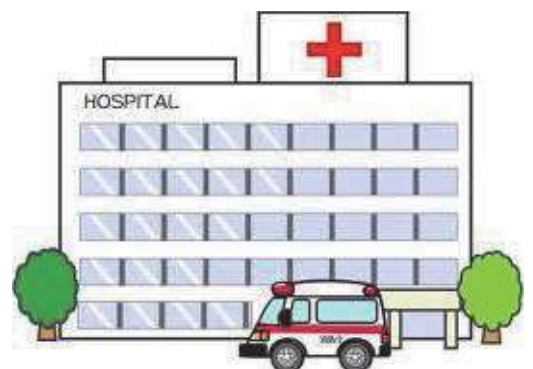
(前ページより続く)

者健康安全機構と相談しながら、当院職員やいわき市の医療関係者・団体・市民の知恵を結集して、現在と同規模以上で、救急・災害医療機能の強化や脳血管障害、急性冠症候群の診療などいわき市では医療需要が強いにも拘らず医療供給体制に弱点を持つ機能を補填できるような充実した新病院を建設したいと考えています。

その点で、移転候補地は、様々な好条件を備えています。例えば、いわき市のほぼ人口中心に位置し、いわき市最大の住宅団地（中央台団地）内に位置し、周辺にも多くの住宅団地（郷ヶ丘団地、若葉台団地、明治団地など）が隣接しており、今後も近辺に住宅の建設が見込まれている地域です。また、交通に関しては、いわき市内の幹線道路(国道6号線バイパス、鹿島街道)からのアクセスも良好です。こうした状況から医療ニーズの増加も見込まれる地域ですが、周辺には二次救急を担う医療機関が多くなく、救急患者の多くは他地域に搬送している状況となっています。また、丘陵地にあることから洪水や津波の危険性もなく、自然災害にも比較的強い地域であると考えられます。さらには、丘陵地帯に造成した開発地の更地であり、現病院の敷地に存在する可能性が高い埋蔵文化財が存在しないことからその調査が不要となるので、建設に関する時間的あるいは費用面でメリットがあります。このことは、多くの地域住民の便宜性ととも、地域医療支援病院として、いわき市の病院・診療と新たな病病・病診連携が構築できることが期待されます。一方、いわき明星大学にとっては、看護学部、薬学部及び平成30年開設予定の医療技術系学部隣接してある程度の規模の実習病院が整備されることによって、学生の利便性や教育効率の向上が見込まれます。また、教育実習機能の充実により、受験生の評価の向上が期待されます。その結果として、いわき市全体の医療スタッフの質と量の確保が期待されます。また、平中央台地区から小名浜直住民及び避難住民に対して、当院の中央台地区移転は急性期医療供給を提供し、新しい医師会館・准看護学校、いわき明星大学、いわき光洋高校といわき市立小中学校及び商業施設が一体化した高齢者にも若者にも魅力ある町作りに寄与するメリットが見込まれます。すなわち、いわき市における新しい魅力的な地域コミュニティ及び医療複合体（医師会館・准看護学校、医療系大学、総合病院）のモデルとして将来性に富んだ、夢のある計画となると期待されます。さらに、当院の敷地と新病院候補地を交換することにより、いわき市は内郷地区に40,000平方メートル以上の公共用地を確保することになり、その有効利用によるいわき市民のメリットも期待できます。すなわち、いわき市及びその住民、いわき明星大学、当院ともにwin-win-winの関係となると確信しています。

また、東日本大震災の教訓から、新病院には一定期間自立可能なインフラ整備が必要です。そのために、飲料水、透析用浄化水を含む病院機能に必要な水の可能な限りの自給のための井戸の掘削、必要最小限の電力確保のための太陽光パネル・風力発電設備の設置などを検討したいと考えています。また、高台での立地を活かした可能な限りの採光やLEDランプの使用等によりエネルギー消費を最小として、低CO₂排出のモデル病院となることも目標としたいと思います。

以上、今回の移転に際しては、少なくとも今後半世紀の間いわき市の地域医療に対して当院が果たすべき役割を十分に果たし、市民生活や環境に貢献できる、夢のある病院を目指して行くべきと考えています。様々な方面からのご意見やご要望を歓迎いたします。



新任医師紹介

4月から当院に
赴任された先生
のご紹介です。



泌尿器科主任部長



小内 友紀子 (こうち ゆきこ)



みなさま初めまして！東京女子医科大学病院より参りました。いわゆる泌尿器科疾患の腎臓や膀胱などの癌、結石症の診断や治療はもちろんですが、前立腺肥大症や神経因性膀胱、女性の過活動膀胱、尿失禁、膀胱瘤を始めとした骨盤臓器脱などの診療経験も豊富につんできました。いままで治療を受けた方も受けなかった方も、日常生活で困っている排尿トラブルがある方はお気軽にお声かけください。診療を通じて皆様を笑顔にできたらこんなに素敵なことはありません。治らなくても今より少しでも皆様の悩みを軽くできたらいいなと思っています。今後ともよろしくお願い致します！



内科医師

金成 文平 (かなり ぶんぺい)

出身 福島県いわき市
専門 糖尿病



2017年3月まで福島県立医科大学糖尿病内分泌代謝学講座にて診療をしており、2017年4月より福島労災病院に赴任しました。地域の皆様のお力になれるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



スタッフ紹介



《看護部》

看護副部長 長沼 民子



このたび、千葉労災病院から異動してまいりました。出身は、宮城県で、東北労災看護専門学校を卒業し、若い時は、東北労災病院で勤務し、その後は、関東労災病院で、仕事と家庭を両立しながら、現在に至っております。自宅は、川崎にありますので、単身赴任生活2度目を迎えております。リフレッシュは、美味しいものを食べに行くこと、テレビをみること、そして、『とらべるこ』を見て、海がきれいな国内・海外旅行を計画・実行することです。東北方面は、帰ってきたなあと感じながら、病院周辺を散策しています。福島労災病院の印象は、みなさん『温かい』と感じます。それは、わからないことがあると笑顔で、優しく教えてくださり、最初のころ迷いそうになっているときも温かく声をかけてくださり、ほっとすることが、たくさんあります。そして、トレードマークの『ふくろう』が、印象的でした。早速、名刺に使用させていただき、会話が弾むきっかけを作っています。組織の違いで、微妙に手続きや方法の違いがあり、まだまだ戸惑うことは、たくさんあります。なるべく迷惑をかけないように仕事をしていきたいと思いますが、わからないことは、教えてもらいながら、明るく楽しく仕事をしていきたいと思っています。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。



《理学療法士》

中央リハビリテーション部長
坂本 和志



この4月に浜松労災病院から転勤して来ました坂本和志と申します。自宅は以前に勤務していた北海道中央労災病院のある北海道岩見沢市にあります。父は浪江町大堀で生まれ、祖父は相馬焼の窯元出身と福島県は坂本家ゆかりの地です。高校生の時に一度当地を訪れたことがあり、当時の常磐ハワイアンセンターやあぶくま洞を訪れたことを覚えています。当地で勤務するのも何かの縁と感じています。北海道出身の私ですが3年間浜松で過ごしたため寒さに弱くなったのか3月末に引っ越してきて寒さを感じています。

同じ労災病院でもところ変わればそれぞれの特徴があります。周りの皆さんを質問攻めにしながら状況の把握に努めております。早く自立できるようになりたいと思います。また患者さんと接していくためには、地理、風習、方言等に慣れるようにがんばります。

休日には県内各地を訪れたいと考えています。車の運転は好きなので1日中のドライブも苦になりません。福島県は温泉にも恵まれ、おいしい食べ物もたくさんあると聞いて来ました。今以上には大きく成長しないように注意しながら、ここの暮らしを満喫したいと思っています。最後になりましたが、地域の皆様と病院に少しでも貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

健康食品・サプリメントについて知っておきたいこと



薬剤部長
高橋 浩子



現在、巷には数々の健康食品やサプリメントがあふれています。しかし、これらを摂取していることが手術や治療に影響する

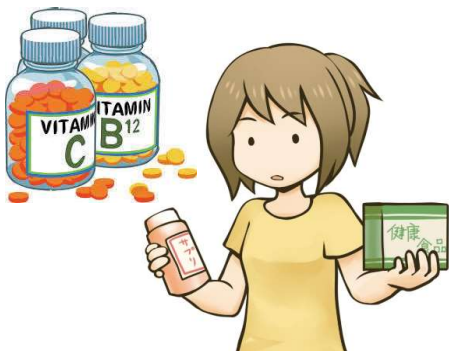
こともあると認識している患者さんは少ないと思います。医療者側も服用している薬については確認しますが、健康食品やサプリメントのチェックまではなかなか手が回らないのが現状です。健康食品やサプリメントに法律的な定義はありませんが、一般的には、健康食品は通常の食品よりも、「健康によい」「健康に効果がある」、「健康の保持増進に役立つ」として、販売されているものをいいます。また、サプリメントは、ある成分が濃縮されて、錠剤やカプセルなど、通常の食品とは違う形をして作られた製品をいいます。

健康食品やサプリメントがどんな影響を与えるか例を挙げてみます。たとえば、血をサラサラにすると謳われている健康食品（魚油の成分であるDHAやEPAが含まれている）を摂取していると、出血が止まりにくくなったりします。同様のことは脳梗塞を防ぐなどとして販売されているイチョウ葉エキスを含む健康食品でも起こります。また、沈んだ気持ちを改善するとして販売されているセントジョーンズワートを含む健康食品は薬を分解する酵素（CYP3A4）の働きを阻害し、CYP3A4で分解される様々な薬の作用を強めてしまうことが報告されています。

健康食品やサプリメントはさまざまな製品名で販売されており、なかなか患者さんから販売名を聞いただけではどのような成分が入っているかわからないことも多いかもしれません。できるだけ箱ごと持ってきてもらい成分を確認することが重要です。成分ごとの概要を知る時には国立栄養研究所のホームページ『「健康食品」の安全性・有効性情報』が役に立ちます。日本医師会のホームページでも会員向けに健康食品に関するデータベースを公表しているようです。

健康食品、サプリメント等においては健康被害なども多く報告されています。その有効性、安全性については医薬品のような科学的な検証はなされていないのが現状です。

ただし、やみくもに否定しては摂取している患者さんとの間に溝ができてしまうことも考えられます。健康食品等を摂取する患者さんの気持ちに寄り添いながら適切な指導が大事だと感じます。



疾病と食事

～ 高尿酸血症 ～

高尿酸血症とは、血液中に尿酸が多くなった状態をいいます。尿酸塩（尿酸の結晶）が関節などにたまり、激しい痛みを伴う炎症発作、いわゆる「痛風」発作を起こすことがあります。痛風患者の多くは男性で、女性が痛風発作を起こす人は少数です。その理由は女性ホルモンの影響と考えられており、閉経後（50歳代以降）はやや増加傾向にあります。放っておくと腎障害や生活習慣病など様々な病気を合併するとみられています。尿酸値が7.0 mg/dlを超えると高尿酸血症と呼ばれます。

「プリン体も大事。でもその前に、食生活のバランスに注意」

ポイント① バランスの良い食事を心がけ、じゅうぶんに野菜をとりましょう

肥満対策・健康維持のためにも、できるだけ栄養バランスのよい食生活を送ることが一番

副菜

野菜、海藻、きのこ、芋、豆類
などがメインのおかずは毎食
2品以上そろえましょう

主菜

魚介類、肉類、卵、大豆・
大豆製品をメインにした
おかずは1品に

主食

ごはん、パン、めん類を
毎食適量に。夜遅くには
ひかえめに



汁物

塩分のとりすぎを防ぐため
にも1日1杯を原則に

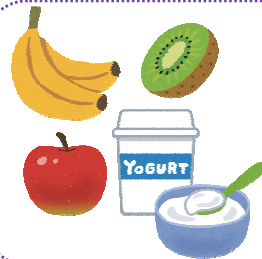
油脂類

揚げ物をはじめ、炒め物、マヨネーズ
を使ったサラダ、パンにぬるバターな
ども油を使った料理です。毎食1品ま
でにしましょう



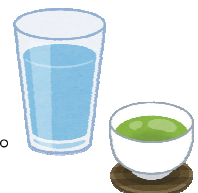
間食

お菓子類よりも、果物や乳製品
など、日頃とっていないものが
あれば間食で



ポイント② 水分をじゅうぶんにとりましょう

水分をしっかりとって尿量を増やし、尿と一緒に尿酸を排泄しましょう。
1日の尿量が2000ml以上になるようにしましょう

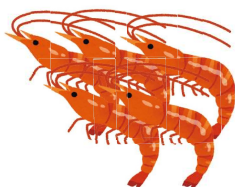


ポイント③アルコール類はひかえましょう

アルコール自体に肝臓での尿酸産生を亢進させ、腎臓からの排泄を低下させる作用があります。適量の範囲で飲んでいて尿酸値が高い場合は、週に1~2日飲まない日をつくるようにしてみましょう

ポイント④プリン体の多いものを取りすぎないようにしましょう

尿酸値の上昇については、食事からの影響より体内での合成や排泄の影響の方が大きいことが明らかになってきましたが、プリン体の多いものは連続して大量に食べないようにしましょう



大正エビ 100g
(5尾程度)
=273mg



鶏レバー70g
(焼き鳥2本分)
=219mg



レバニラ炒め1人前
牛レバー70g=154mg
豚レバー70g=199mg



かつお刺身3切れ
(60g) =126mg

メタボリックシンドロームと高尿酸血症

内臓に脂肪がたまる肥満をベースに、血糖や血圧、血中脂質が2つ以上基準値を超えるとメタボリックシンドロームと診断されます。このメタボリックシンドロームには高尿酸血症が合併しやすく、実際に日本でも高尿酸血症の8割が、肥満、高血圧、脂質異常症、高血糖などの生活習慣をもっているとの報告があります。

高尿酸血症も心血管系疾患（脳卒中や心筋梗塞など）の危険因子になりうるとの見方もあることから、肥満があれば早めに解消し、尿酸値は低めに保っておいた方がよいでしょう。



栄養管理室では医師の指示のもと、管理栄養士が患者さんの病状に合わせた栄養指導を行っております。
栄養指導を希望される患者様は一度主治医へご相談ください。



栄養管理室

福島労災病院(外来診療科担当医一覧表)

平成29年7月1日現在

科	9診	月	火	水	木	金
総合内科			渡辺 毅 (午後)	渡辺 毅	渡辺 毅 (午後)	
腎臓内科	10診	草野 裕樹 (再診のみ)	草野 裕樹		草野 裕樹 (再診のみ)	草野 裕樹
糖尿病内科	11診	金成 文平	金成 文平 (再診のみ)		金成 文平	金成 文平 (再診のみ)
リウマチ・膠原病内科	9診		佐々島 朋美 (午前:再診のみ) 木村 悠子 (第1火曜日のみ)	佐々島 朋美 (午前:新患のみ)		佐々島 朋美 (午後:再診のみ)
血液内科						
腫瘍内科	1診	石塚 光	石塚 光		石塚 光	
呼吸器科	1診					
	2診	石原 俊晴	石原 俊晴	石原 俊晴	石原 俊晴	石原 俊晴
消化器科	紹介外来	松橋 暢生	田井 真弓	紹介外来 (江尻 豊)	鈴木 智浩	市井 統
	再診	鈴木 智浩	市井 統		松橋 暢生	田井 真弓
	新患	松岡 直紀	交代制		綿引 優	小屋 有代
循環器科	1診					神 雄一朗
	3診	大楽 英明	三戸 征仁	大楽 英明 8:30~12:00 肺高血圧専門外来 第2水曜日午後・予約制	山内 宏之	大楽 英明
	4診	鈴木 重文	渡邊 康之 (午前) 山内 宏之 (午後)	鈴木 重文	渡邊 康之	鈴木 重文
	5診	吉成 和之	吉成 和之	三戸 征仁	三戸 征仁	吉成 和之
	予約制(午後のみ)				大和田 憲司	
心療内科	1診	代診(再診のみ)		代診(再診のみ)		
外科	1診	又吉 一仁	遠藤 浩太郎	宮澤 正紹	宮澤 正紹	遠藤 浩太郎
	2診	石井 恒	武藤 淳	石井 恒	大須賀 文彦	武藤 淳
	3診		乳腺外来 18日 甲状腺内分泌専門外来 11日・25日 10:30~15:00	甲状腺内分泌専門外来 12日・26日 10:30~15:00	又吉 一仁	乳腺甲状腺外来 28日 (午前・予約制) 甲状腺内分泌専門外来 7日・14日・21日 (午前・予約制) 病診連携受入れ不可
	4診	星野 実加 (呼吸器外科)	大須賀 文彦	星野 実加 (呼吸器外科)	星野 実加 (呼吸器外科)	星野 実加 (呼吸器外科)
	5診	菅野 敦子		菅野 敦子		菅野 敦子
整形外科	4診	鈴木 裕	鈴木 裕	牛久 智加良 (脊椎外科)	鈴木 裕	鈴木 裕
	2診		岩井 和夫 10:00~12:00	岩井 和夫 (リウマチ外科)		岩井 和夫
					紹介・予約外来 (再診のみ)	
泌尿器科	1診	小内 友紀子	森田 恒太郎 8:30~12:00	小内 友紀子	小内 友紀子 6・13・20日	交代制
眼科	1診		鈴木 説子	鈴木 説子	鈴木 説子	鈴木 説子
耳鼻咽喉科	1診	鈴木 康士	鈴木 康士 11日・25日		鈴木 康士	鈴木 康士
	2診		天谷 巖(予約外来) 11日・25日		天石 剛資 20日	
リハ科	1診		岩井 和夫 8:30~10:00			
放射線科	1診			福島医大医師 12日・26日 5日・19日 10:00~ 13:00~	がん研有明病院医師 6日・13日・20日・27日	福島医大医師 14日・28日
禁煙外来	1診				齊藤 道也 13日 10:00~12:00予約制 江尻 豊 27日 10:00~12:00予約制	
予約検査	午前	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ	腹部エコー・胃カメラ
	午後	大腸ファイバー	トレッドミル 大腸ファイバー	心カテ	心カテ、気管支鏡 大腸ファイバー	心カテ

- 消化器科 ○ 新患は原則として紹介患者様のみの診察となります。
- 循環器科 ○ ペースメーカークリニック(第2・4週月曜日13:00~)
- 心療内科 ○ 再来患者様のみの診察となります。

外科 ○ ストマークリニック(第2・4週火曜日13:00~、予約制) ○ 肛門外来(毎日)

〈受付時間〉 8:15~11:00 (急患の方は随時受付いたします。) 〈診察時間〉 8:30~17:00
※木曜日の整形外科は15:00まで受付いたします。

地域医療連携室 直通電話番号/0120-002-181(フリーダイヤル)
診療申込み専用FAX/0120-126-610(フリーダイヤル)
(診療申込みにて患者様をご紹介頂く場合にご利用ください。)

※「消化器病センター」への申し込みについては専用の申し込みが必要です。地域医療連携室へ問合せ又はホームページよりダウンロード下さい。